

T A K E
F R E E

2023
vol.

83



Fukuoka
Kinen
Hospital

社会医療法人大成会

福岡記念病院
広報誌

facetoface

向かい合って、スマイル。

特集

年頭のごあいさつ

職場紹介

こんにちは！医事課です

医療の現場から

OPE室の話

臨床工学技士のご紹介

第338回

日本内科学会九州地方会にて表彰されました

第133回

日本循環器学会九州地方会で発表を行いました

つながる医療

連携施設のご紹介

新年あけましておめでとうございます

2023年も福岡記念病院をよろしくお願い致します

新年あけましておめでとうございます。日頃当院をご利用いただきまして改めて厚くお礼申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症の診療に多大な時間を費やされました。今年こそ治まってくれることを祈念しておりますが、早くも第8波の到来が報道されており、むしろ大流行するのではないかと思念しております。当院はコロナウイルス感染症の重点医療機関に指定されており、また早良区唯一の地域医療支援病院ですので、今後も地域住民の皆様が安心していただけるように積極的に診療に協力、貢献していく所存です。

当院は創立以来救急医療を最重視してきました。このためにあらゆる疾患の救急医療が出来るように、診療科を増やしてまいりました。今年度も救急医療をより向上するために新たな診療科の開設、医師の招聘を予定しております。特に先進医療の脊椎内視鏡下手術を開設しますのでよろしくお願ひ申し上げます。新任医師及び新設の診療科は今後ホームページでも紹介していきますのでご覧いただければ幸いです。

当院は断らない救急をモットーにしておりましたが、昨年度は満床のためにお断りしたことが度々あり、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今年度は優秀な救急医療専門医及び集中治療専門医が揃います。



日本内科学会評議員・指導医
日本神経学会指導医
外国人医師臨床修練指導医
佐賀大学名誉教授
The Best Doctors in Japan

社会医療法人大成会 理事長

くろだ やすお
黒田 康夫

で重症者の受け入れを積極的にを行い、さらに他の医療機関との連携を一層強化して要請があれば速やかに対応する所存です。

皆様から「安全で安心できる病院」と評価される病院になるようにさらに努力してまいりますので、今年もご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

当院は救急医療と感染対策をさらに充実させるために新病院の建設を予定しております。完成は数年後になりますが、今後ホームページで進捗状況をご報告して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

本年が皆様にとってこれまでで最も良い年になるように心から祈念申し上げます。

新春のお慶びを申し上げます。旧年中は皆様には大変お世話になりました。福岡記念病院を預かるもの一人として心より御礼を申し上げます。

2022年はこれまでに経験したこともない激動の年であったと感じます。すでに3年近くが経過しても一向に収まる気配がない新型コロナウイルス感染症に加えて2月に始まったロシアのウクライナ侵襲、そのあおりを受けた世界のエネルギー問題が日本に暗い影を落としました。一方で米国の大リーグでは大谷翔平選手の二刀流の大活躍に喜び、ワールドカップではサムライブルーが優勝候補のドイツやスペインに勝利するなどスポーツの力が笑顔をもたらすと感じた年でした。

当院を振り返ってみますと、昨年も新型コロナウイルス感染症と対峙しながら救急医療を中心に診療を行って参りました。7月には700台と1ヶ月間では過去最高の救急車を受け入れました。但し、残念なことと同じ月には200件の要請を断らざるを得なかった側面がありました。すべての患者さんを受け入れるという当院開設以来のポリシーを貫くには、職員の頑張りにだけではやり遂げることが出来ないスケールになっている現実があります。50年近く経った施設では今の要請にはすべて応えることは出来なくなってきたております。そのような中で今の当院に出来ることは優秀な人材を集めることです。救急医療に限らず患者さんは全て診断がわかって受診されるわけではありません。当院では救急専門医、内科、外科のみだけではなく総合診療医が救急外来にも駆けつけることで、もつれて絡んだ糸をほどこように診断から治療へと結びつけるシステムを充実させるように努めております。また、本年2月からは九州でもまだ少ない7ミリの切開でファイバースコープを用いた脊椎治療のスペシャリストが常勤医として



日本循環器学会循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医
久留米大学名誉教授

福岡記念病院 院長

うえの たかふみ
上野 高史

勤務することになり、最新の設備を準備いたしました。これから腰痛でお悩みの患者さんの治療に必ず貢献できることをお約束いたします。

また、もうしばらくお待ちいただくこととなりますが、理事長が申しておりますように、旧西新ハレス跡地に新病院の計画がようやく進み出すことになりました。

本年9月には福岡救急医学会総会を当院が担当することになりました。これまで大学病院などの救命センターを有する施設が選ばれてきておりましたが、小生がその会長に選ばれたことはひとえに職員の日頃の努力のたまものであると身の引き締まる思いです。

人材が充実して、施設を刷新することができても病院で働くすべての職員が笑顔でいることができなければ患者さんを笑顔にすることはできないと考えます。不幸にも病気になる方々が当院に運ばれ、そして退院時には笑顔でお戻りになれるよう職員とともに一生懸命令和5年を過ごしていきたいと考えております。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

職場紹介

チーム医療の全てを「つなぐ」大事な業務

こんにちは！ 医事課です



「医事課」の業務は多岐にわたっており、「受付」、「電話対応」、「診療報酬請求」、「医療相談」、「救命救急対応」など、医療機関の運営・経営に直結しています。

病院の顔として

また、医事課は病院の窓口として、外来の受付や会計を行ったりする患者さんと密接な業務で、「入口」「出口」の役割を担っています。

病院には、それぞれの事情を抱えた方が多く来られます。その方々の心情に対して適切かつ迅速に笑顔で対応する**病院と患者さんをつなぐ**コンシェルジュを心掛けています。

命をつなぐ最初のバトン

当院は、年間約6000台の救急車の受け入れをしている救急病院です。特にCOVID-19に

関しては、主に中等症から重症患者さんを受け入れる基幹病院でもあります。

「救急事務」は、患者さんの「特定」「状態」「ストーリー」が重視され迅速な情報収集とマネジメントが求められます。

この情報をいち早く**医師・看護師に「つなぐ」**ことで、救命処置に役立ち、命の連携（チーム医療）が成り立つわけです。

一番先に私たちが動くことで、身元特定や親族との連絡がつくなど、患者さんの「孤独」を解消できるケアにもなっています。このような事務方の関わり方は全国的にも少なく、当院の救急業務の特徴とも言えます。

医療情報を正しく伝える責務

また、私たちは、一般の方には難しい複雑な医療に関する業務を集約し、情報化することで患者さんの負担割合を算出す

る「診療報酬明細書・レセプト」業務を行っています。患者さんから信頼され「適正・適切」を守り、複雑な内容の一つ一つ説明することは、**医療と患者さんをつなぐ**重要な責務です。2024年には紙製の健康保険証（国保）が廃止され「マイナンバーカード制度」が基準となります。我々専門家が、皆さんに分かりやすく説明し、理解していただくための案内を行ってまいりますので、お気軽にお声かけください。



新人受付職員

我々、福岡記念病院の医事課は、全ての「つなぐ」を大切に、今後も患者さんと向き合っています。

O P E 室の話



福岡記念病院手術室では手術室業務と、中央材料室業務を担っています。

スタッフは看護師16名、クラーク職員1名、看護助手1名の計18名で、手術室経験豊富な看護師が多く働いています。また、麻酔科医は常勤医師が4名、非常勤医師が2名勤務しています。

看護師の勤務体制と業務

手術室での看護師の役割は、周手術期における患者さんの安全を守り、手術が円滑に遂行できるように個々の患者さんに応じて専門的知識と技術を提供する事です。

手術室での看護師は器械出し看護師と外回り看護師の2つの役割があります。勤務体制は「早出」と「遅出」があり、早出勤務は中央材料室業務を行っている看護助手が主に勤務しています。日勤で手術室業務が終了しない場合は17時に遅出勤務スタッフへ業務引き継ぎを行い、日勤スタッフ



関節鏡手術

が時間外労働にならないように調整をしています。17時20分以降の手術は急患になりますので毎日オンコール当番制で対応しています。

中央材料室では病棟と手術室で使用された器械、器具の洗浄、消毒、滅菌を行っています。器械、器具の洗浄は新しく導入された高圧蒸気滅菌器2台と、エチレンオキサイドガス滅菌器で行われています。

機器の新規導入について

今年度、外科、整形外科、泌尿器科の内視鏡手術システムが更新され新しい器械が導入されました。麻酔記録と看護記録のシステムも更新され、現在稼働しています。



腹腔鏡手術

手術について

福岡記念病院の手術室は4部屋あり、手術件数は年間約1500件、うち整形外科の手術が約700件近く行われており、年間の手術総数の約半分の割合を占めています。

次いで多いのが外科、脊椎外科、脳神経外科の手術になります。多い時には1日9件程行われており、緊急手術があれば対応に追われる日もあります。

これからも、安心して手術に臨んでいただけるよう、スタッフ一同、より安全な医療提供を目指して参りたいと思います。

医療と機器を結ぶエキスパート！

臨床工学技士のご紹介

臨床工学技士は他の医療職よりも35年と歴史が浅く、聞き慣れない方もまだ多いと思いますので臨床工学技士がどのような職種なのかをご紹介します。いただきます。

臨床工学技士は現代医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。生命維持管理装置の操作及び保守点検を行い、医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。

当院の臨床工学技士は12名でそれぞれの業務に1〜3名配属し業務を行っています。

MEセンター業務

MEセンターでは院内で使用される輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・除細動器（AED）など様々な医療機器が安心・安全に使用されるように保守点検（始・終業点検）を実施し、貸し出し・返却もコンピュータで管理しております。

使用中の人工呼吸器は毎日ラウンドして、設定や正常動作の確認を行い、チェック表を作成しております。

また、安全に医療機器を取り扱えるように、年に数回職員へ適切な機器使用方法の勉強会を実施しています。

高気圧酸素治療（HBO）業務

当院の高気圧酸素療法は、1人用カプセルの中に100%酸素で加圧を



高気圧酸素治療業務

行い、大気圧よりも高い気圧（2.0〜2.5気圧）環境を作ることによって、高濃度の酸素を体内に取り込み病態の改善を図る治療です。通常1日1.5時間を7〜10日間程度行います。

血液浄化

透析機器は2台で、入院されている患者さんが維持透析を他院で受けている、または透析が必要となった場合の透析を行っています。

急性血液浄化（持続的緩徐式血液浄化・血液吸着・血漿交換など）の

機器は計4台保有しており、腹水・胸水濾過濃縮再静注法も同じ機器で行うことができます。



急性血液浄化機器操作中

手術室業務

外科内視鏡手術 眼科手術領域 脊椎外科手術等で使用される機器の準備・操作、及び保守点検を行っています。

心臓カテーテル室業務

虚血性心臓病に対する冠動脈形成術の直接介助や、その周辺機器（血管内超音波エコー・冠血流予備量比測定など）の操作などを行います。

心臓カテーテルアブレーションでも直接介助や心内心電図の解析・3Dマッピングの準備・操作を行っています。ペースメーカー手術時は直接介助

機器を使用しリード状況の測定を行っています。

外来においても機器を使用し電池の状況・リード測定や心内心電図の解析などを行っています。



ペースメーカー手術補助業務

人工心肺業務

心臓手術の際、心臓や肺に代わる働きをする体外循環装置（人工心肺）を操作・管理します。

その他、心臓を止めるために使用する心筋保護装置、出血量が多くなるため使用する自己血回収装置の操作・管理も行います。心臓手術時はその他にも数多くの機器の操作や使用前後の点検を行っています。

結石破碎・泌尿器科領域業務

他院ではあまり関わることがない業務ですが、当院では臨床工学技士が中心となって行っている業務です。

結石破碎は尿管結石に衝撃波を当てることによって細かく砕き、尿として排出する治療です。他にも泌尿器科領域手術の直接介助やその周辺機器の操作・保守点検を行っています。

このように臨床工学技士は多岐にわたって病院業務に関わっています。現在、医療機器は益々進化し複雑化してきており、それに伴って臨床工学技士も必要とされてきています。

今後も医療機器が安全・安心に使用できるように努めてまいります。



臨床工学技士スタッフ

第 338 回

日本内科学会九州地方会にて表彰されました



初期研修医
しい ゆうだい
石井 雄大



循環器内科部長
ますもと あきひろ
舛元 章浩



令和4年8月27日に開催されました第338回日本内科学会九州地方会にて、「新型コロナウイルスワクチン接種後に急性壊死性脳症、劇症型心筋炎を発症した1剖検例」を発表し、初期研修医奨励賞を受賞させていただきました。

本症例は、急性壊死性脳症、劇症型心筋炎をほぼ同時に発症した非常に稀なケースで、循環器内科、脳神経内科、集中治療科医師らがワンチームとなり、経皮的心肺補助装置（ECMO）などを使用してステロイドパルス療法、大量免疫グロブリン療法などの集学的加療を行いました。御家族様のご協力・ご厚意もあり、病理解剖までさせていただきましたので、診断、治療から病理学的検討までを含めた詳細な発表をすることができました。

発表に際しましては、ご指導いただきました舛元先生をはじめとする諸先生方、久留米大学医学部病理学講座：矢野博久教授、矢野雄太先生には、謝意を表したいと存じます。

第 133 回

日本循環器学会九州地方会で発表を行いました



初期研修医
しげなが なおき
繁永 直樹

令和4年12月3日に久留米シティプラザにて開催された第133回日本循環器学会九州地方会研修医セッションで『カテーテルアブレーション術後遅発性に房室ブロックが出現した房室結節リエントリー性頻拍（AVNRT）の1例』に関して発表を行いました。

本症例は、腰椎椎体骨折のため当院整形外科に入院中、ほぼ毎日、薬剤抵抗性の発作性上室性頻拍（房室結節回帰性頻拍）を認めましたので、カテーテルアブレーション（遅伝導焼灼術）を行い、何の問題もなく終了いたしました。その後も良好に経過されましたので、1週間後に転院されましたが、2：1房室ブロックを新規に発症されました。幸い、房室ブロックは自然寛解しましたのでペースメーカー移植術は回避できました。通常、アブレーションによる房室ブロックはアブレーション術中に生じ、遅発性に発症することはほとんどないと言われております。また、今回の症例はこの房室ブロックに虚血性心臓病が関与していたという非常に稀なケースでしたので、学会発表させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今まではWebによる開催がほとんどでしたが、今回は久しぶりに現地開催でしたので、多数の質問もあり、会場発表による緊張感、高揚感を十分に味わうことができた大変有意義な学会発表となりました。最後に発表のご指導をいただいた舛元先生をはじめとする諸先生方には大変感謝申し上げます。



つながる医療 連携施設のご紹介

当院は「地域医療支援病院」として、
地域医療機関と共に地域医療を支えています。

福岡記念病院グループ むらやま泌尿器科クリニック

【診療科】泌尿器科

むらやま まこと
院長 村山 眞 先生



こんにちは。福岡市城南区七隈7丁目にて泌尿器科のクリニックを開院しております「むらやま泌尿器科クリニック」です。近隣の福岡大学病院など、各医療機関と連携して人工透析を実施しております。

当院では令和4年11月から、これまで以上に患者様へ、地域の皆様方へと貢献出来るように体制強化を計り、その一環として社会医療法人大成会グループの施設となり、福岡記念病院様と密な連携体制を構築しました。これにより泌尿器科以外の疾患に対しても、質の高い医療を敏速に提供する事が可能となってきました。また、万が一の際にも入院委託により、安心して高度救命から各種リハビリテーションまでを安心して受ける事が出来ます。

病気を診ずして病人を診るという医療従事者本来の志で、今後も皆様方に安心して受診出来る場所であり続けたいと考えますのでどうぞ宜しくお願い致します。

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	／	○	／

休診日：日曜・祝日 ※但し、人工透析はこの限りにあらず



〒814-0133
福岡市城南区七隈
7丁目2-1
【TEL】092-874-0020
【FAX】092-874-0021

やまうちクリニック

【診療科】皮膚科／形成外科

やまうち としひこ
院長 山内 俊彦 先生

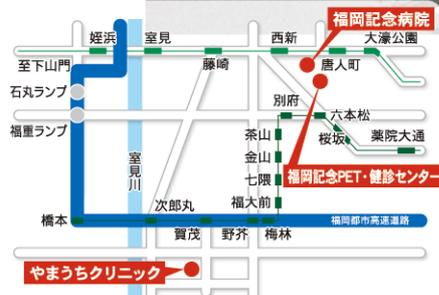


当院は福岡市早良区の四箇田団地の近くで2015年に開院しました。皮膚科・形成外科を標榜し、一般的な皮膚科診療に加えて局所麻酔での皮膚腫瘍切除や外傷の処置、眼瞼手術などの形成外科診療や一部レーザーなどの美容的な治療も行っています。当院周辺は福岡市でも郊外で少し前までは田園風景の広がる場所でしたが最近新しい住宅もどんどん建ってきており、古くから住まれている年配の方から新しく来られた若いファミリーまで幅広い年齢の患者さんに来ていただいています。

福岡記念病院は皮膚科も形成外科もあり救急もされており大変お世話になっています。特に急いで治療が必要な患者さんは電話で相談したらいつも迅速に受け入れていただいております。今後さらに病診連携を深めていけたらと思います。よろしくお祈りします。

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	△	○	△
△9:00~13:00						
14:00~18:00	○	○	○	／	○	／

休診日 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
※受付は診察終了10分前までになります。



〒811-1101
福岡県福岡市早良区
重留7丁目18-1
(四箇田団地ヨコ)
【TEL】092-872-3300

当院診療科及び担当医表

(2023年1月1日更新)

学会・出張等により休診になる場合がありますので、各医師の担当日については事前にお問合せください。

診療科	氏名	月	火	水	木	金	土
脳神経内科 (神経内科)	黒田 康夫	午前 ○	○	○	○	○	○
	長山 成美	午前 ○	○	○	○	○	○
	坪井 義夫	午前 ○	○	○	○	○	○
	三嶋 崇靖	午前 ○	○	○	○	○	○
	辛嶋 健	午前 ○	○	○	○	○	▲
糖尿病・内分泌内科	九州大学非常勤	午前 ○	○	○	○	○	○
感染症内科 リウマチ科	向野 賢治	午前 ○	○	○	○	○	○
消化器内科	山口 哲	午前 ○	○	○	○	○	第1・3・5曜
	松岡 浩	午前 ○	○	○	○	○	第4土曜
	保田 秀生	午前 ○	○	○	○	○	第2土曜
循環器内科	上野 高史	午前 ○	○	○	○	○	▲
	舛元 章浩	午前 ○	○	○	○	○	▲
	中村 広	午前 ○	○	○	○	○	▲
	久米田 洋志	午前 ○	○	○	○	○	▲
	上野 美佳	午前 ○	○	○	○	○	▲
呼吸器内科	藤原 英樹	午前 ○	○	○	○	○	▲
呼吸器外科	城 幸督	午前 ○	○	○	○	○	○
	鈴木 邦裕	午前 ○	○	○	○	○	○
乳腺外科	上田・徳石	午前 ○	○	○	○	○	○
外科 消化器外科 大腸・肛門外科	岩熊 伸高	午前 ○	○	○	○	○	第4週のみ
	長谷場 仁俊	午前 ○	○	○	○	○	▲
	御鍵 和弘	午前 ○	○	○	○	○	▲
	芝原 幸太郎	午前 ○	○	○	○	○	▲
	土井 篤	午前 ○	○	○	○	○	▲
脳神経外科	古市 将司	午前 ○	○	○	○	○	▲
	大田 正流	午前 ○	○	○	○	○	▲
	溝田 新吾	午前 ○	○	○	○	○	▲
	八木 伸博	午前 ○	○	○	○	○	▲
	福田 修志	午前 ○	○	○	○	○	▲
整形外科	樋口 健吾	午前 ○	○	○	○	○	▲
	末次 宏晃	午前 ○	○	○	○	○	▲
	宮崎 研丞	午前 ○	○	○	○	○	▲
	馬渡 正明	午前 ○	○	○	○	○	○
	馬渡 大介	午前 ○	○	○	○	○	○

診療科	氏名	月	火	水	木	金	土
救急・ 総合診療科	竹内 広幸	午前 ○	○	○	○	○	▲
	茂木 恒俊	午前 ○	○	○	○	○	▲
	後藤 仁典	午前 ○	○	○	○	○	▲
	鶴 将司	午前 ○	○	○	○	○	▲
	平田 慎治	午前 ○	○	○	○	○	▲
	小楠 美帆	午前 ○	○	○	○	○	○
脊椎・脊髄外科	隈元 真志	午前 ○	○	○	○	○	○
	吉松 弘喜	午前 ○	○	○	○	○	○
心臓血管外科 血管外科	宮本 和幸	午前 ▼	○	▼	○	▼	▲
	米倉 隆介	午前 ▼	○	▼	○	▼	▲
小児科	山崎 兼吾	午前 ○	○	○	○	○	第2・4週のみ
	橋本 恭子	午前 ○	○	○	○	○	第1休診
泌尿器科	堤 茂高	午前 ○	○	○	○	○	第1休診
	有吉 朝美	午前 ○	○	○	○	○	○
皮膚科	工藤 稔	午前 ○	○	○	○	○	▲
形成外科	岡 潔	午前 ○	○	○	○	○	○
	山口 淑恵	午前 ○	○	○	○	○	▲
婦人科	安岡 真理子	午前 ○	○	○	○	○	○
	春野 佳子	午前 ○	○	○	○	○	月1不定期
耳鼻咽喉科	新里 祐一	午前 ○	○	○	○	○	▲
	碓 絵馬	午前 ○	○	○	○	○	▲
精神科	内田 信哉	午前 ○	○	○	○	○	第2週のみ
歯科 歯科口腔外科	大塚 秀一	午前 ○	○	○	○	○	○
	大塚 智子	午前 ○	○	○	○	○	○
放射線科	石岡 久和	午前 ○	○	○	○	○	○
	國弘 敏之	午後 ○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	舛元、中村、古市	午前 ○	○	○	○	○	○
	樋口、松岡、山口	午後 ○	○	○	○	○	○
麻酔科	竹内 広幸	午前 ▼	▼	▼	▼	▼	▼
	秋吉 瑠美	午後 ▼	▼	▼	▼	▼	▼
ペインクリニック科	西川 文顯	午前 ○	○	○	○	○	○
	松尾 顯	午後 ○	○	○	○	○	○
集中治療科	水山 勇人	午前 ○	○	○	○	○	○
	鶴 竹内	午後 ○	○	○	○	○	○
臨床検査科	太田 勇司	午前 □	□	□	□	□	□
病理診断科	久留米 大病理	午前 □	□	□	□	□	□
研修医	石井 雄大	午前 ○	○	○	○	○	○
	野川 千平	午後 ○	○	○	○	○	○
	的野 渚	午前 ○	○	○	○	○	○
	石川 洋碧	午後 ○	○	○	○	○	○
	仲谷 八谷	午前 ○	○	○	○	○	○
	木村 西	午前 ○	○	○	○	○	○
	山崎 野	午後 ○	○	○	○	○	○
	知平 裕	午前 ○	○	○	○	○	○
	代磨 真	午後 ○	○	○	○	○	○
	永住 二	午前 ○	○	○	○	○	○
	村田 宮	午後 ○	○	○	○	○	○
	直樹 一	午前 ○	○	○	○	○	○
	修太 二	午後 ○	○	○	○	○	○
	樹太 一	午前 ○	○	○	○	○	○
	修太 二	午後 ○	○	○	○	○	○

<表中の記号> ○外来 ▼手術 □検査日 ▲交代制(病棟・外来) ◎病棟

地域医療連携室直通 TEL: 092-821-7446 FAX: 092-821-4773

受付時間 平日 …… 午前/8:30~12:00 (診療は12:30迄) 午後/1:30~4:30 (診療は5:00迄) 土曜 …… 午前/8:30~11:30 (診療は12:00迄) 午後/休診 休診 日祝日休診 ※急患はいつでも診療します



社会医療法人大成会 福岡記念病院

〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1-35
TEL: 092-821-4731 FAX: 092-821-6449

発行日: 2023年1月 発行者: 上野 高史 URL: https://kinen.jp/ E-mail: info@kinen.jp



日本医療機能評価機構認定病院